

8 番 清 水

受付番号第3号、質問議員8番の清水明でございます。

「山北駅前交番廃止の中止を」ということで一般質問をいたします。

通告書と若干タイムラグがありまして、表現が変わるところがありますが、御了解いただきたいと思えます。

神奈川県警は、昨年3月、現在472カ所ある交番を、令和2年度から10年かけて約400カ所に再編する基本計画をまとめました。昨年10月に山北地区の自治会長会議での松田警察署からの説明では、昨今交番の安全が脅かされており殉職された警察官も出ていると、富山県と宮城県の2件です。そのため、交番勤務者の安全を確保することを考えて、交番数を絞り、各交番に常時複数の警察官が勤務するようにして、事件事故への対応力を上げることを目指すとしています。

廃止の対象となる交番は比較的事件事故の少ない、なおかつ建物の老朽化が進んでいるところを順次廃止する方針であり、令和2年度末には県内で、これは2月20日に発表がありましたが、12カ所を廃止すると。山北駅前交番はその中に入っております。そのため県警は対象地元への説明を進めているということでもあります。

この計画には2点にわたり疑問があります。まず、交番の抑止力が何ら考慮されていないこと、もう一つは交番勤務者の複数配置はうなずけるものの、それは警察官の増員により解決すべき問題ではないかということです。財政厳しい折ではありますが、お金がないから安全はごめんなさいというふうにとってしまいます。地元の連合自治会では廃止中止の要望書に署名を集め、県知事に提出する準備を進めています。住民の不安は高まるばかりであります。

そこで質問をします。

- 1、山北駅前交番廃止に対する町の基本的な考え方はどうなのか。
- 2、廃止が本決まりになりましたが、町として、住民の不安を払拭するための手だてはどうか、その2点について伺います。

議 長

答弁願います。町長。

町 長

それでは、清水明議員から「山北駅前交番廃止の中止を」についての御質問をいただきました。

初めに、神奈川県警は平成31年3月に、交番、駐在所及び警備派出所の事件事故への対応力の向上及び持続的な交番等施設の維持のため、今後10年間の方針を示す「神奈川県警察交番等整備基本計画」を策定いたしました。

この計画では3つの課題を提起しており、1つ目は、スマホの普及による通信網の発達や交通網の発達により交番等の役割が変化していること。2つ目は、建物の老朽化により県下では、築30年以上の交番が約半数となっていること。3つ目が、現在の警察業務はDVや特殊詐欺等への対策強化が求められ、交番警察官の増員が困難な一方で、交番警察官の殺傷事件が連続発生し、単独の警察官では対処することができないため、複数勤務体制の確立が必要となっていることであります。

これらの喫緊の課題を解消するため、神奈川県警では、令和2年度から10年間で県内472カ所の交番の統合を進め、約400カ所に減らす再編計画をまとめ、令和3年3月に最初の12カ所を統合することとしました。

統合する交番の選定条件は、「近隣における駐在所の配置状況」、「業務負担率」、「建物の築年数」の3条件であると聞いており、山北交番は最初に統合される12カ所の交番に含まれております。

そこで、1点目の御質問の「山北駅前交番廃止に対する町の基本的な考え方はどうなのか」についてであります。神奈川県警では、交番の統合を進めるに当たって、地域の安全・安心を守るのは警察の責務であるとしており、交番が統合されても治安維持に努め、地域住民の方々とともに安全で安心して暮らせる地域社会の実現に向けて全力で取り組んでいくと明言しておりますが、山北交番の統合については、神奈川県庁の厳しい財政状況の中における神奈川県警の判断・決定であったとしても、町としては認めることはできません。

次に、2点目の御質問の「廃止が本決まりとなった場合、町として住民の不安を払拭するための手だてはどうなのか」についてであります。警察業務については、警察法第36条で都道府県に、「都道府県警察を置く」と定められており、市町村長には、その権限はありませんが、現時点で松田警察署が示しているのは、「向原、岸、平山の各駐在所が山北交番の管轄地域を区分けして担当する」、「パトカーによる駐留警戒やパトロールを強化する」、

「地域住民等と合同パトロールを実施する」、「車両型アクティブ交番の整備」などであります。

冒頭でも申し上げましたが、今後、山北交番に続き10年間で、各市町村で統合が行われ、各地で住民の不安を払拭するための手だてが実施されることとなりますので、関係市町で連携を図り、町民の安全安心につながる施策であれば、時期を問わず町民の意向を聞き、積極的に松田警察署を初めとした関係機関に要望していかなければならないと考えております。

議 長 清水明議員。

8 番 清 水 今の御答弁で、決定されているからといって、これをそのままそうですかということにはならないということ、非常に心強い思いがします。

あくまでも、地域としては山北駅前交番の存続を求める運動を今後も進めていきたいというふうに言っております。自治会等を通じて聞きますと、やはり説明が少ないということが一番大きな問題で、この辺については、自治会等とも連絡をとっていきたいなと思っておりますが、今後、この問題については、山北町全体の問題として捉える必要があると思います。なぜならば、3つの駐在所で交番の役割を担っていくということですが、勤務が重たくなってしまいうようなこともあります。

それで今後、町、議会、地域住民から成る対策委員会を設けて、町民の安全安心が図れる方策を練る必要があると思いますが、その点に関してはいかがでしょうか。

議 長 町長。

町 長 まだ、我々もそういったような情報を聞いているところでございますので、それに対して地域でも反対の署名をいただいて、また県知事のところへ出すというようなことを伺っておりますので、そういったようなものを見きわめながら、そういったような対策の会議が必要であれば、設置していかなければいけないなというふうに思っております。

議 長 清水議員。

8 番 清 水 ぜひとも、特に住民に情報がないということが、大分意見として出ていますので、何らか住民が安心できるような方策を目に見える形でとっていく必要があると思われま。そのためには、先ほど申しましたが、やはり住民の

声も入れた対策委員会、できれば早く設置をしていただきたいなというふう  
に思っております。

次の質問です。県警の計画が、今後10年間でおよそ山北を含めて70余り  
が廃止統合されるということになります。そうすると、これから1年間、私  
たち、山北の住民は反対運動を続けていくこととなりますが、このような思  
いを今後10年間で70余りの地域が味わうこととなります。不安な地域が広が  
っていきます。県警の説明もありましたが、やはり、なくなるということに  
ついては大変な思いがあります。

それから、何といても抑止力というもの、聞きますと、夜、山北駅をお  
りて、交番の赤い明かりが、赤色灯がともっていると、ちょっと安心をする  
と。そこに警察官がいないのはわかっていますが、それでもほっとすると、そ  
ういうふうな思いが、財政が厳しいということで、なかなかわかっていると  
思いますが、こちらのほうには伝わってこない。

ということで、そのような70を超える地域が不安になっている。その不安  
を取り除き、あるべき地域と警察の関係をつくり上げていく交番サミットの  
ようなものを開催して、同じような立場にある者、不安を取り除く、それか  
ら、できれば県警にも私たちの思いを伝えていきたいということで、そのよ  
うな仮称ですが、交番サミットを開催する旗振りの役を山北町はするべきだ  
と思いますが、その点についてはいかがでしょうか。

議 長 町長。

町 長 今、初めてそういったサミットのお話も聞きましたけども、先ほども申し  
上げましたとおり、まだ情報を、我々は聞いただけでございまして、具体的  
な方法についても、新聞等の報道ぐらいいしか存じ上げておりません。そう  
いった中で、そういったような必要があれば、そういったようなことを皆さん  
とお話ししながら進めていきたいというふうに思っております。

議 長 清水議員。

8 番 清 水 答弁を通じまして、思いは同じであるということに心を強くいたします。

ただ、もう1年ちょっとで、ある意味交番がなくなってしまう、それにつ  
いて、やはり、できるだけ声を上げて、さまざまな方策を考えていく。その  
ために町、議会、それから地域一体となって、できれば反対運動を進めてい

きたいと思います。その点について、思いは同じだと思いますが、再度町長のお気持ちを伺いたいと思います。

議 長 町長。

町 長 先ほども申し上げましたとおり、皆さんの地域の本当に思いというんですか、そういったものを今県知事のほうへ届けていただくというようなことを聞いておりますので、それについては、当然、県会議員の方も加わっていただいて、その辺に対しては、やはり同じ気持ちでいかなければいけないというふうに思っておりますので、そういったようなことは、一番最初のほうとしては、大事ではないかというふうに思っております。

議 長 清水議員。

8 番 清 水 終わります。